

1章 東京のみどりづくりの目標

1 東京のみどりづくり

首都東京にふさわしい都市づくりを推進していくため、都市活動の中で創られる様々なみどり*を複合的に組み合わせ、連続させたみどりのネットワークを形成し、都市の活力と自然、歴史・文化が織り成す美しい風格都市・東京の実現を目指します。

このような東京のみどりづくりを推進していくため、東京都では「東京らしいみどりをつくる新戦略」を展開し、様々な施策を立案し実行していきます。その一つとして「みどりの新戦略ガイドライン」（以下「ガイドライン」という）を策定します。

このガイドラインは東京のみどりの目標の実現に向けた公・民の行動指針となるものです。

ガイドラインでは「みどりづくりの目標」を掲げ、その目標を都・区市町村と都民や民間事業者とが共有し、公共は主要なみどりの拠点や軸づくりを進めます。

一方、民間は民有地における既存のみどりの保全と活用に努めるとともに、みどりを創出し、相互に連携してみどりづくりを進めます。

「みどりづくりの目標」として、以下の3点を示します。

①みどり率*の指標により、将来（2025年）のみどりの量の目標を示します。

②みどりの持つ機能を発揮させ、みどりの質の向上を図ります。

③東京のみどりの拠点と軸を示し、みどりのネットワークの形成を目指します。

とりわけ、都市施設（道路、河川、公園等）を骨格として、周辺のまちづくりと一体となった「環境軸」を形成し、快適な都市環境を創出します。

■東京のみどりの拠点とみどりの軸



◇都市公園や緑地などが東京のみどりの拠点形成（代々木公園）



◇みどり豊かな街路樹や河川、崖線のみどりなどが、東京のみどりの軸形成